

〔烈公問話〕大久保彦左衛門事、名譽之一。徹者也。大坂御一戰之時、御鎗奉行其後御旗奉行也。或時牢人某來リテ申ハ、ケ様ニ御靜謐之御代ナレバ、無手々々ト病死可仕候。天晴具足ヲ肩ニ掛ケ討死仕度ト、彦左氣ニ入、ウイヤットイハレント思テ申ケレバ、彦左云、誠ニ左様ニ存候カト被申、實ニ左様之心底ト申、其時彦左云、ソレガ實ナレバ、日本一之不屈者也。如何ニト云ニ、此御靜謐之御代ニ、其方杯具足著候事ハ、先ヅ亂國ナラデ無キ事也。代亂ル、ハ、一揆カ、逆心カ、左様ノ事有テ其方具足可著如何程ノ功名有テモ、三百石カ五百石也、其方一人五百石ノ立身可仕タメ、天下亂ヲ好ム、公方様ニ御六ケ敷事ヲ願申心底、扱々不屈千萬也、左様ニ實ニ存ズルナラバ、唯今腹ヲ切レ、是非トモ切レト白眼付テ云ハレ、コソ、ト尻逃ニ仕ケルト也。

〔倭訓栞後編十四〕のんき。俗語也、暖氣の義なるべし。

〔新撰字鏡〕很很。同、胡蠻反、戾也、違也、不測也、顔也、暴也、(中略)加太久奈、又加万加万之。

〔塵袋六〕一ヒガミタルヲヒスカシトイヒ、モノナレヌヲカタクナト云歟。

常ニハ此ノ心ニオモヒナラハセリ、但左傳曰、不則德之義、經曰、頑、不遵忠信之言爲ヒスカシ、ト云ヘリ、ツ子ノヤウニハタガヒタル歟。

〔日本書紀三〕武。戊午年十二月、饒速日命、中見夫長髓彦稟性クスカシニモトリ、復很不可教、以天人之際、乃殺之、帥其衆而歸順焉。

〔懷風藻〕釋辨正二首

辨正法師者、俗姓秦氏、性滑稽、善談論。

〔類聚名義抄六〕情音清、コ、ロ

〔伊呂波字類抄奈〕情ナサケ、心、憐已上同

〔運歩色葉集那〕情ナサケ